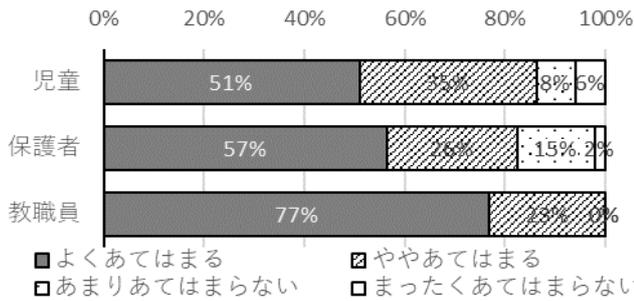


### ①学校が楽しい。

※学校へ行くのが楽しい。



※お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしている。

※児童が楽しく学校へ通うことができるよう、日々の教育活動を工夫している。

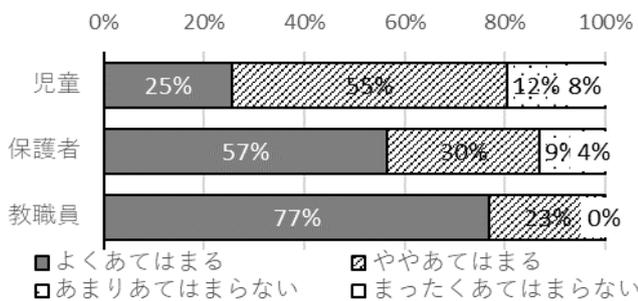
成果と課題	86%の児童が楽しいと感じているが、楽しくないと感じている児童が7名いる。思春期に入り授業や人間関係に悩んでいる児童が自分の能力を発揮できる場を見つけられていないのではないかと考える。
※対策	各担任が児童観察を続け、気になることがあれば共通理解をする。「楽しくない」と答えた児童の学年を把握し、再検証するとともに、タブレットの導入など、授業方法を改善し、楽しいと思える学習活動を展開する。さらに児童が活躍できる場を設定していく。

### ②早寝・早起き

※毎日、決められた時刻に起き、夜更かしをせずに決められた時刻に寝ている。（早寝・早起き）

※家庭では、早寝早起きをさせている。起床…登校の1時間前 就寝…低21時・中21時30分・高22時

※早寝・早起きなど基本的な生活習慣の大切さについて指導している。



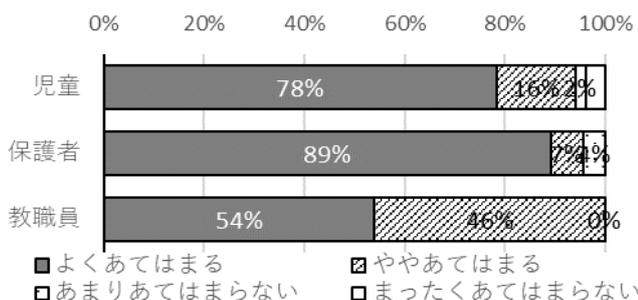
成果と課題	87%の保護者が指導をしていると答えているが、10名の児童ができていないと答えている。生活習慣に関するきまりが守れていない、あるいはきまりが曖昧になっているのではないかと考える。
対策	児童への指導を継続するとともに、学年便り・保健便りの活用を行っていききたい。また保護者への周知・啓発をし、ゲーム等の時間について、家庭でのルール作りに取り組んでもらうようにする。

### ③朝食について

※毎日、朝ご飯をきちんと食べて学校に来ている。

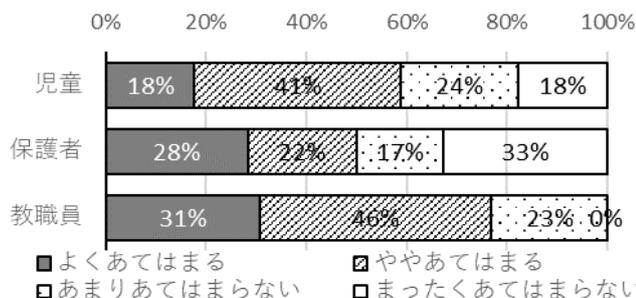
※お子さんは、朝ご飯を必ず食べている

※食育を通して朝食の大切さについて指導し、保護者にも啓発を図っている。



成果と課題	94%の児童が朝食をとっているが、3名の児童がきちんととれていない。②の生活習慣（早寝・早起きと関連しているのではないかと考える。朝起きられず、朝食を摂らないまま登校しているのではないかと考える。
※対策	養護教諭や栄養教諭も授業に参加して朝食の大切さを理解させたい。また保健便りなどを活用して保護者への周知・啓発に取り組みたい。

#### ④毎日歩いて登校



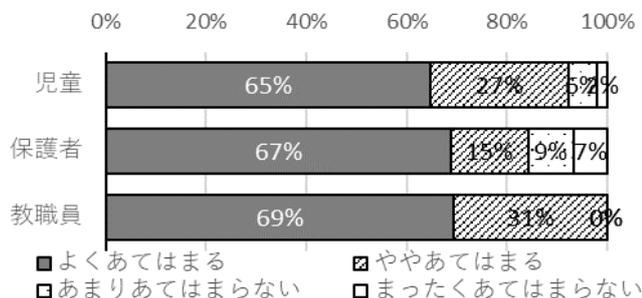
※体調の悪い時以外は、毎日歩いて登校している。

※お子さんは、体調の悪いとき以外は、歩いて登校している。

※体調の悪いとき以外は、できるだけ歩いて登校するよう呼びかけている。

成果と課題	歩いて登校する児童が59%と微増している。21名の児童が、歩いて登下校していない。本校が街の中心から外れていること、校区外から通っている児童がいることが影響していると思われる。
※対策	地域の実情からやむを得ない面もあるが、引き続き保護者に啓発をする。学校は、これまで以上に体力作りに取り組む。また昨年度の通学路安全点検の際にも要望したが通学路に緑のラインを引いてもらうなど児童が安全に登下校できるように引き続き要望をだしていきたい。

#### ⑤毎日の宿題を忘れずにできている。



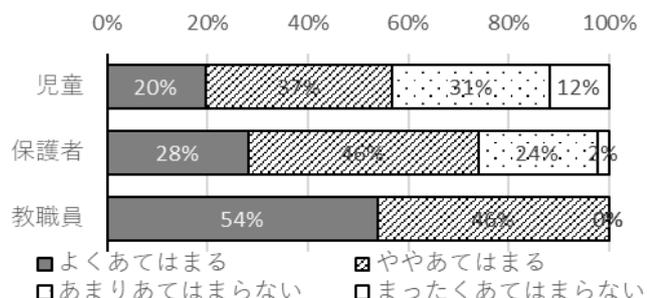
※毎日宿題を忘れずにできている。

※家庭では、お子さんに毎日宿題をするよう声かけをしている。

※児童の家庭学習の習慣が身に付くよう、適切な内容・量の宿題を出したり、その確認を行ったりしている。

成果と課題	92%の児童が毎日宿題に取り組んでいるが、4名の児童ができていないと答えている。また、82%の保護者が声かけをしてくださっている。十分に家庭学習の習慣が身に付いていない児童がいると思われる。
※対策	宿題に関して、適切な内容・量を見直し、家庭で継続してする習慣を付ける。また保護者と連携して家庭で宿題をサポートしてもらうようにする。

#### ⑥自主勉強・読書について



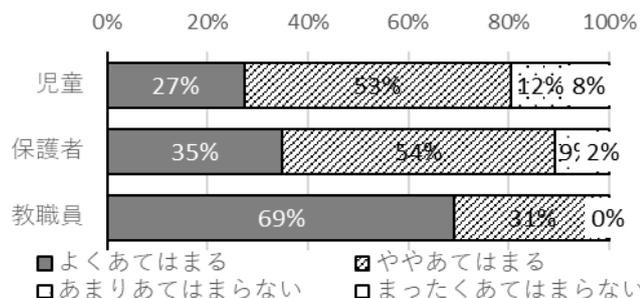
※自主勉強や読書が自分から進んでできている。

※家庭では、お子さんに読書や自主勉強などに取り組むよう声かけをしている。

※学習の手引きを活用して自主学習の仕方について指導したり、本の紹介や読み聞かせなど、児童の家庭での読書につながる指導をしたりしている。

成果と課題	57%の児童が自主学習・読書に進んで取り組んでいないと答えている。引き続き教師が児童に自主学習の進め方やノートのまとめ方などについて指導していきたい。また本校には図書ホールしかないため、じっくり落ち着いて読書ができる場所がない。図書室の増設を要望していきたい。
※対策	各学年に応じた学習の手引きを活用して自主学習ノートの使い方を指導する。読書については、担任と時間をとって図書ホールに見に行く。また職員の共通理解のもと、週末読書をさらに推奨していきたい。

## ⑦基礎学力



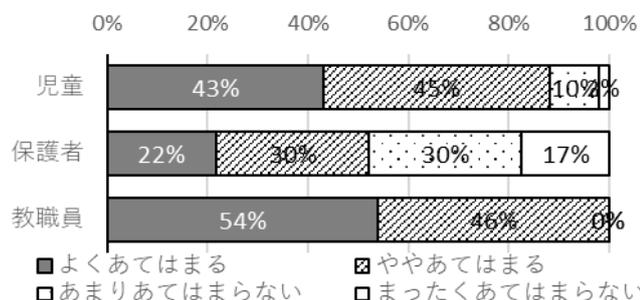
※今の学年で習った漢字の読み・書きや、計算、音読ができる。

※お子さんは、漢字の読み・書きや計算などの基礎学力が身に付いている。

※漢字の読み・書きや計算、音読などの基礎学力が身に付くよう継続して丁寧に指導している。

成果と課題	80%の児童が基礎学力が身に付いていると感じているが、5名の児童・保護者ができていないと感じている。一人一人が授業内容を十分に理解できるよう手立てを考える必要がある。
※対策	継続して授業では基礎・基本の徹底に努めるとともに、少人数指導の利点を生かし学習が楽しいと思えるようサポートしていく。またミニテストなどを実施してその都度、児童の理解状況を確認していきたい。さらに、自主学习ノートの取り組みを引き続き推奨する。

## ⑧タブレットについて



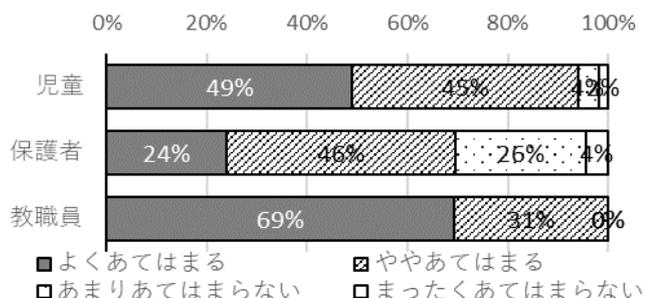
※タブレットを使うことで学習が楽しくなり、わかりやすくなった。

※お子さんは、家庭でも、タブレットを用いて学習をしている。

※タブレットなどのICT機器を活用するなどして指導環境が向上した。

成果と課題	88%の児童がタブレットの効果を実感しているが、6名の児童がタブレットの効果を実感できていない。保護者については、52%が「よくあてはまる」「あてはまる」と答えている。授業におけるタブレットの活用は進んでいるが、家庭学習における利用が十分でないことが分かる。
※対策	視力の低下も懸念されるが、定期的にタブレットを使った宿題を提示していくことも必要かと考える。

## ⑨当番・係活動・掃除



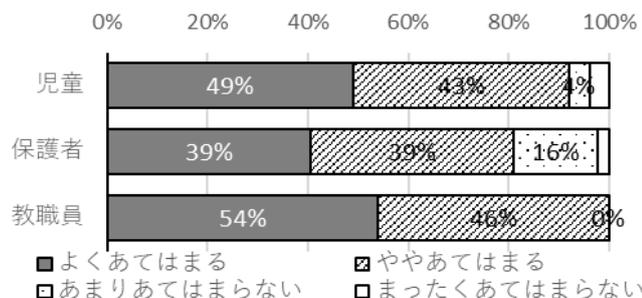
※当番や係の仕事、そうじなどに進んで取り組み、一生懸命できている。

※家庭では、決まったお手伝いをさせ、働くことを大切にしている。

※他人や学級・学校のために進んで働くことができる児童を育てている。

成果と課題	94%の児童が係や掃除にまじめに取り組んでいる。しかし、14名の保護者が家庭であまりお手伝いをさせていないと答えている。家庭環境によるが、習い事や社会体育の疲れ、生活習慣の乱れ等が影響しているのではないかと考える。
※対策	学校では掃除の時間は、無言で時間いっぱい取り組むことを徹底したい。合わせて掃除道具の使い方をきちんと教える。また、できている子はさらに力ををのばすような指導をしたい。「お手伝い日記」や「お手伝い週間」などのワークシート・掃除時間に音楽をかけるなど工夫もしていきたい。

## ⑩挨拶・返事・ありがとう

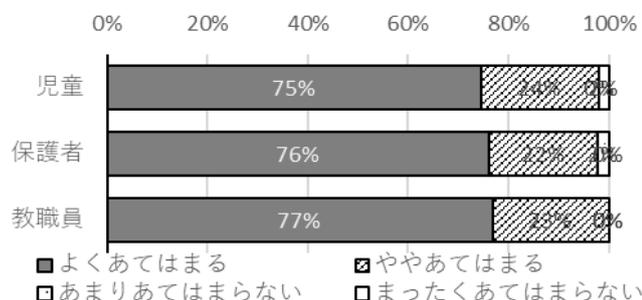


※家族や先生方、友達や地域の方に「あいさつ・返事・ありがとう」ができています。

※お子さんは、きちんと返事をし、家族や先生、地域の方に挨拶をしたり、感謝の言葉を伝えたりしている。  
 ※児童が保護者・地域の方々や教職員に「挨拶・返事・ありがとう」ができるよう、声掛けや指導をしている。

成果と課題	92%の児童は挨拶・返事・ありがとうができていると答えている。一方、保護者は昨年度の87%から78%と減少している。学校ではできていても家庭や地域では、挨拶が十分にできていないのではないかと考える。
※対策	挨拶に関しては指導を継続し、いつでも誰とでもできるようにしていきたい。校内では、教職員から挨拶することを心がけたい。あわせて家庭での挨拶も啓発していきたい。

## ⑪いじめゼロ



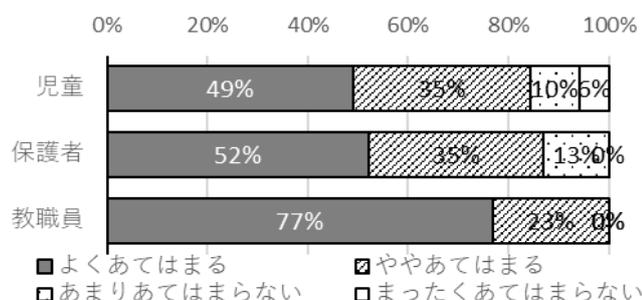
※いじめゼロ宣言を守り、いじめをしないで、友達と仲良くできている。

※お子さんは、友達にいじめをしないで仲良くできている。

児童が、いじめをしたり、いじめを見逃したり、いじめの傍観者になったりしないよう、互いの人権を尊重し合える仲間づくりができている。

成果と課題	99%の児童が、いじめをせず、友達と仲良くしていると答えている。同様に保護者も児童が友達と仲良くできていると感じている。いじめゼロになるように引き続き取り組んでいく。
※対策	今後も、人権教育を充実させ、「よくあてはまる」と答える児童が増えるようにしていきたい。

## ⑫家庭とのコミュニケーション



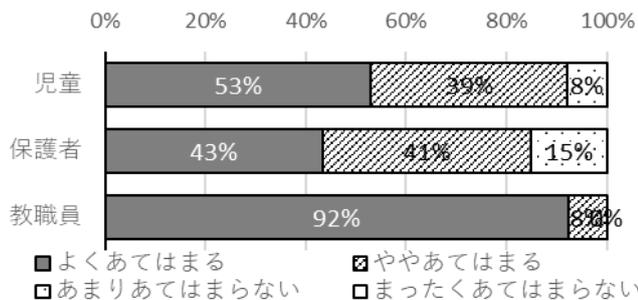
※家の人に学校の出来事をよく話している。

※お子さんは、家で学校の出来事をよく話している。

※児童や保護者とのコミュニケーションを密にしている。

成果と課題	84%の児童は学校の出来事を家庭で話している。8名の児童が「話していない」と答えている。習い事や社会体育に忙しかったり、ゲームをしすぎたりしているなどが原因なのではないかと考える。
※対策	引き続き結果を公表して、保護者に啓発していく。

### ⑬防災教育について



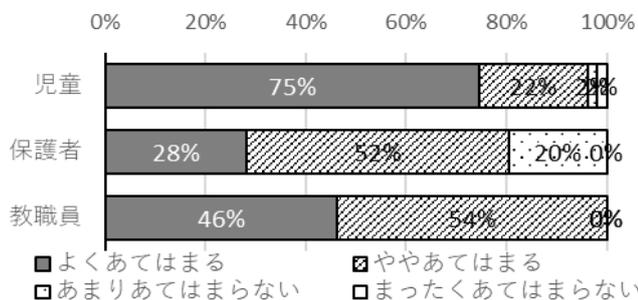
※地震や津波の時の避難のしかたが分かり、行動できる。

※家庭では、地震・津波避難や防災について話し合いをしている。

※地域と連携し、発達段階に応じた防災教育に取り組んでいる。

成果と課題	92%の児童が避難の仕方を理解していると答えている。84%の保護者が家庭においても防災に関して話し合いの時間をもってくれている。家庭内でも災害時の避難の仕方等をじっくりと話し合う時間が必要なのではないか。
※対策	学校では、引き続き発達段階に合わせて、避難訓練のに逃げ方・命を守る方法について指導する。また参観授業後等で防災についての学校行事を実施し、学校での学習を家庭へ広げていきたい。今年度は、5・6年で事前復興学習を実施した。

### ⑭わかる授業



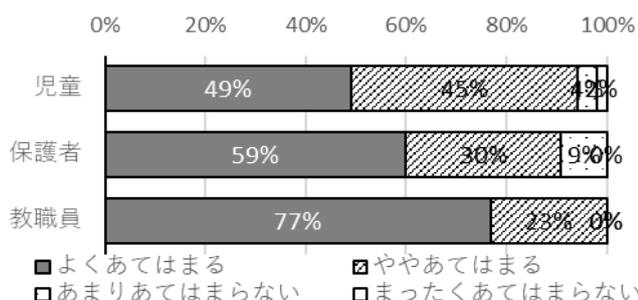
※先生は、毎日の授業をわかりやすく教えてくれる。

※お父さんは、学校の授業がよくわかると言っている。

※よく分かる楽しい授業を工夫している。

成果と課題	97%の児童が、学校の授業はわかりやすいと答えている。保護者の80%は児童が理解していると答えているが、20%は「あてはまらない」と答えている。
※対策	低学年では、国語では、「読む・書く」の基礎基本を大事にする、算数では、具体物の操作で理解を深める。研修で授業力向上に取り組み、児童に応じた支援を続ける。

### ⑮PBS（ポジティブな行動支援）



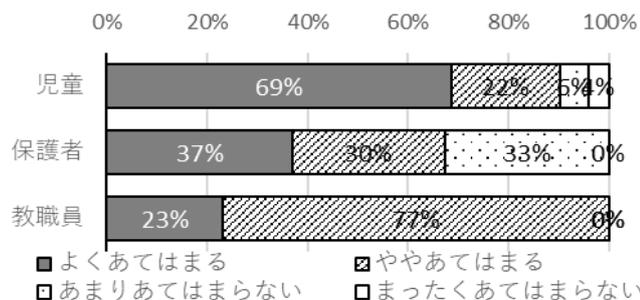
※先生方は、がんばったことや自分のよいところをほめてくれる。

※お父さんは、学校でほめられたことで自分への自信を高めている。

※PBSに取り組み、児童一人一人のよさを認め、しっかりと児童に伝えている。

成果と課題	94%の児童が先生にほめてもらっていると感じている。保護者は昨年度の84%から89%へ増加している。
※対策	児童一人一人を理解し、PBSを継続する。しかし、人を傷つけるようなことをした時はしっかり、はっきり叱るなどメリハリのある指導をする。

## ⑩健康・体力の向上



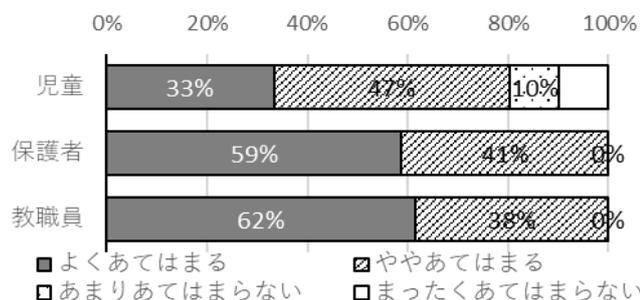
※休み時間に外で遊んだり、体育の時間に楽しく運動したりしている。

※お子さんは、家庭で外遊びや体力づくりに取り組んでいる。

※児童と一緒に外遊びをしたり、健康・体力向上に向けた活動や授業の工夫をしたりしている。

成果と課題	91%の児童が積極的に運動しているが、外遊びを好まず室内で過ごすことが多い児童もいる。また家庭では、運動・体力向上に十分取り組めていない様子が見られる。
※対策	体力向上に向けた活動の実施・授業の改善に取り組む。外遊びを好まない児童も外で活動できるようにする。外部講師等も招いて体力向上に向けた活動を実施していく。保護者に、実態を理解してもらうと同時に、家庭でも体力づくりに取り組んでもらうよう啓発する。(徒歩通学を勧める。)

## ⑪自尊心・自尊感情



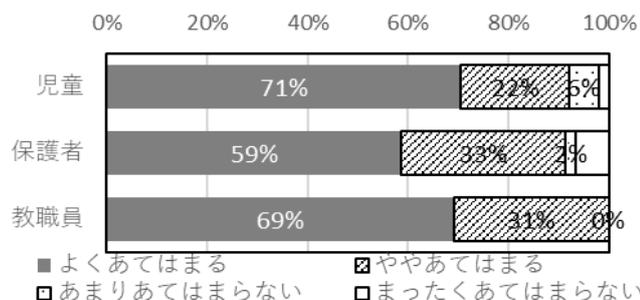
※自分には、よいところがあると思う。

※お子さんのよいところを認め、ほめている。

※児童のよさを生かした学習指導や学校経営をしている。

成果と課題	80%の児童が自分にはよいところがあると答えているが、10名の児童がそう感じていない。100%の保護者や教職員が、子どもを認めほめていると答えているが、児童が自分の良さを認識することにつながっていない。
※対策	全教育活動の中でPBSを推進するとともに、多様な体験を通して様々な価値観に触れさせていく。

## ⑫友達



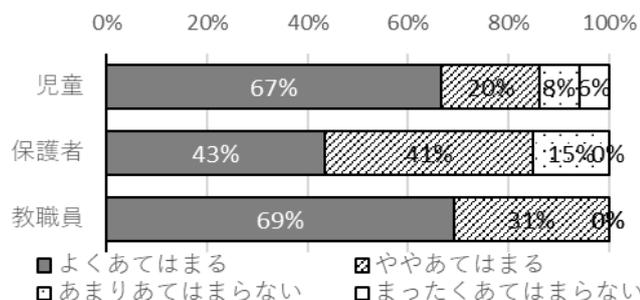
※困ったときに助けてくれる友達がいる。

※お子さんは、話をしたり、困ったときに助けてくれる仲のよい友達がいる。

※児童と一緒に話をしたり遊んだりできる友達ができるよう、互いを認め合い差別や偏見のない学級集団作りに努めている。

成果と課題	93%の児童が、助けてくれる友達がいると答えている。小規模校ゆえに固定化された人間関係の中で悩んでいる児童がいるのではないかと考える。
※対策	常に児童の様子に気を配り、児童の変化に気付けるように努める。また、小さな変化についても教職員間で共通理解を図る。発達段階に応じた「仲間づくり」の活動に積極的に取り組む。

## ⑱ 故郷への愛着



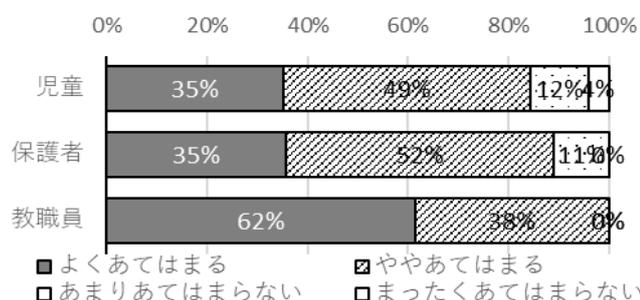
※橘町や阿南市が好きだ。

※お子さんは、橘町や阿南市のことが好きだと言っている。

※地域の人・もの・ことを活用するなど、阿南市や橘町を愛する気持ちを育む教育活動を展開している。

成果と課題	87%の児童が阿南市や橘町のことが好きと答えていが、7名の児童が「あまりあてはまらない」と答えている。
※対策	地域と連携した教育活動を継続するとともに地域の歴史を学ぶ、橘町のよさを学び地域に出向く、地域の人と交流する学習をさらに取り組んでいきたい。

## ⑳ 学んだことを実践



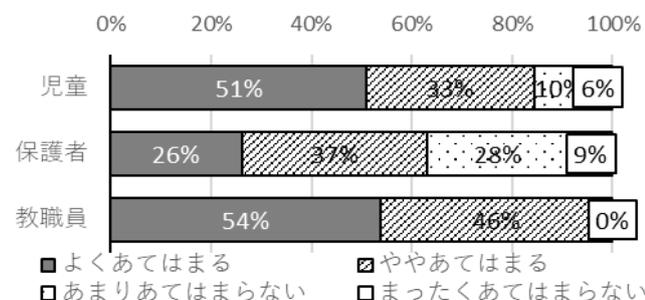
※学校で勉強したことを生活の中で使っている。

※お子さんは、学校で勉強したことを生活の中で活用している。

※学習したことを、児童が生活の中で生かせるよう指導や声かけをしている。

成果と課題	学んだことを実践できていると答えた児童が昨年度より11%減少した。保護者についても「よくあてはまる」・「あてはまる」と答えた人が3%減少している。学んだことが生活の中に生かされていると考える児童が減っているのではないか。
※対策	学ぶ意義について考えさせるとともに、各教科、総合的な学習の時間を活用して、体験的な活動を積極的に導入していく。

## ㉑ 将来の夢



※将来の夢をもち、夢を叶えるためがんばっている。

※お子さんは、将来の夢を意識して努力している。

※児童と将来の夢について語り合い、児童の夢を応援する声かけをしている。

成果と課題	84%の児童が夢を持ち頑張っていることがわかった。しかし、16%の児童が自分の夢や将来を強く意識していない。将来の職業について模索中の児童が多いと思われる。
※対策	ゲストティーチャーを招くなど、キャリア教育を充実させていくとともに、学級活動等で夢や、やってみたいことを語り合う。また授業では、基礎・基本の定着を図り、児童が今後夢を実現できる可能性を高めていく。